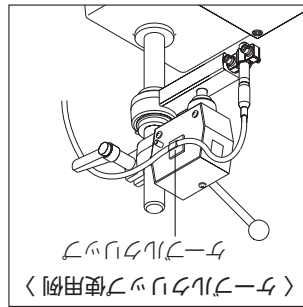
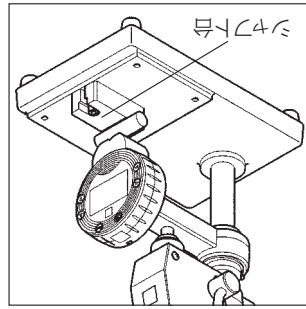


防錆・潤滑のため、摺動部には定期的に油を差してください。



(1) ケーブルクリップ裏面のシールをはがします。  
 (2) ケーブルクリップをお好みの位置に貼り付けて、ケーブルを固定します。

## メンテナンス



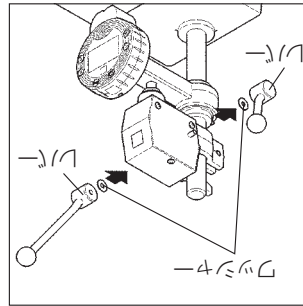
(1) 使用しているスチーゾのボルト(4本)を外して、スチーゾを取ります。  
 (2) 付属のシヤフト台を使用目的に合わせて位置を調整し、付属のボルトで固定します。  
 \*測定対象物が小さい場合、スチーゾに直接シヤフト台を取付けることができます。

測定対象物が円柱状の場合は、付属のシヤフト台を使用すると、測定しやすくなります。

## ■シヤフト台

プローブタイプのセンサーをご使用の場合は、付属のケーブルクリップを使用すると、ケーブルを固定することができます。

## ■ケーブルクリップ



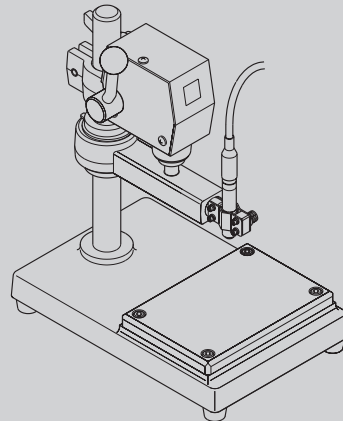
(1) リバー根元(内側)のボルトを外し、リバーとワッシャーを外します。  
 (2) 外したリバーとワッシャーを反対側の軸へ差込み、ボルトで固定します。

出荷時は左側に取付けてありますが、左右どちらでも取付けることができます。使用状況に応じて付け替えてください。

## ■リバーの付け替え

## その他の機能

# 膜厚計用スタンド LW-990 取扱説明書



膜厚計用スタンド LW-990は、膜厚測定時の手振れを防ぎ、より精度の高い測定を行うためのスタンドです。プローブタイプの膜厚計およびハンディタイプの膜厚計(LZ-990)に対応しています。



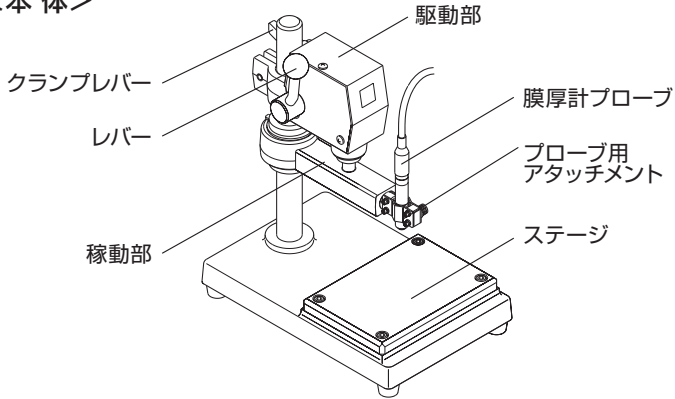
## 株式会社ケット科学研究所

東京本社 東京都大田区南馬込1-8-1 〒143-8507 TEL(03)3776-1111 FAX(03)3772-3001  
 大阪支店 大阪市東淀川区東中島4-4-10 〒533-0033 TEL(06)6323-4581 FAX(06)6323-4585  
 札幌営業所 札幌市西区八軒一条西3-1-1 〒063-0841 TEL(011)611-9441 FAX(011)631-9866  
 仙台営業所 仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル 〒980-0802 TEL(022)215-6806 FAX(022)215-6809  
 名古屋営業所 名古屋市中村区名駅5-6-18 伊原ビル 〒450-0002 TEL(052)551-2629 FAX(052)561-5677  
 九州営業所 佐賀県鳥栖市布津原町14-1 布津原ビル 〒841-0053 TEL(0942)84-9011 FAX(0942)84-9012  
 ●URL <http://www.kett.co.jp/> ●E-mail [sales@kett.co.jp](mailto:sales@kett.co.jp)

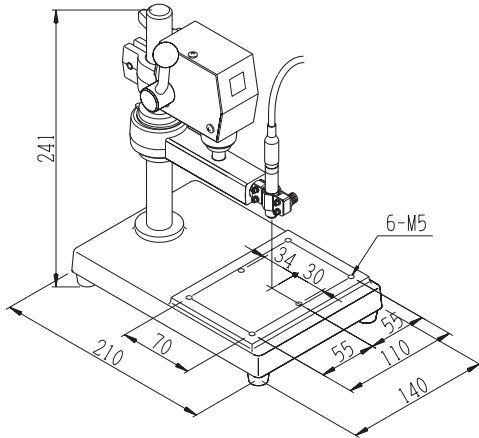
## 各部の名称

LE-200Jのプロープを取付けた例図です。膜厚計プロープは本製品には付属されていません。

### <本体>



### <寸法>



## 仕様

### ■ 寸法・質量

150(W)×210(D)×280(H) mm、2.5kg

### ■ 対応センサ

プローブタイプ：LEPおよびLHP-20/20C/30/30C/J  
ハンディタイプ：LZ-990

### ■ 付属品

ネジ×2、LZ-990用アタッチメント、ケーブルクリップ、  
プローブ用アタッチメント、シャフト台、ボルト、  
六角レンチ×2、付属品ケース、取扱説明書

## 付属品



## 膜厚計のセット

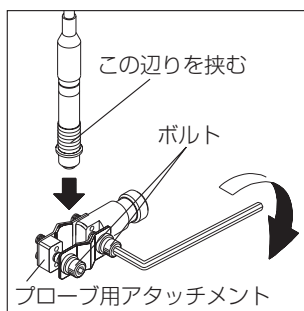
- (1) プロープ用アタッチメントまたはLZ-990用アタッチメントに膜厚計をセットします。

### 《プローブタイプの場合》

ボルトを緩め、プローブが通るように隙間を空けます。プローブを差し込み、ボルトを締めて固定します。

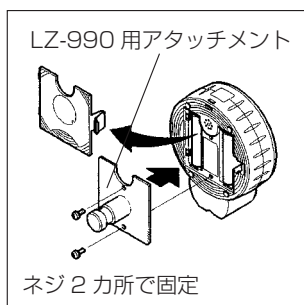
- \* プロープを挟む位置は、測定時に指でつまむ部分が目安です。プローブの種類により、挟む位置が異なります。

- ⚠️ ご注意**  
\* ボルトをきつく締めすぎると、プローブの動きが悪くなります。きつく締めすぎないように注意してください。



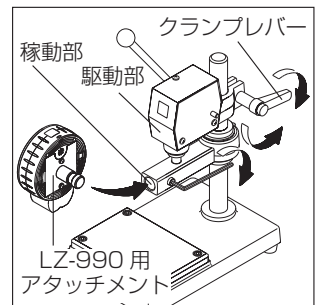
### 《LZ-990の場合》

膜厚計LZ-990の背面の電池蓋を外します。外した電池蓋の所に、LZ-990用アタッチメントをセットして、ネジ(2カ所)を締めて固定します。



### 《LZ-990 使用例》

- (2) プロープ用アタッチメントまたはLZ-990用アタッチメントを稼動部の先端に差し込み、ボルトを締めて固定します。
- (3) クランプレバーを緩めて駆動部の高さ調整を行い、クランプレバーを締めて駆動部を固定します。



- ⚠️ ご注意**  
\* 高さ調整を行うときは、駆動部を落とさないように注意してください。

## 測定

- (1) レバーを引き上げ、ステージに測定対象物を置きます。
- (2) レバーを静かに下ろします。
- ⚠️ ご注意**  
\* レバーを急激に下ろすと、衝突によって膜厚計が故障する可能性があります。
- (3) 各膜厚計の取扱説明書を参照して測定を行います。

